

第14次業種別審査事典 フォローアップレポート

長引くコロナ禍が百貨店の改革を促す

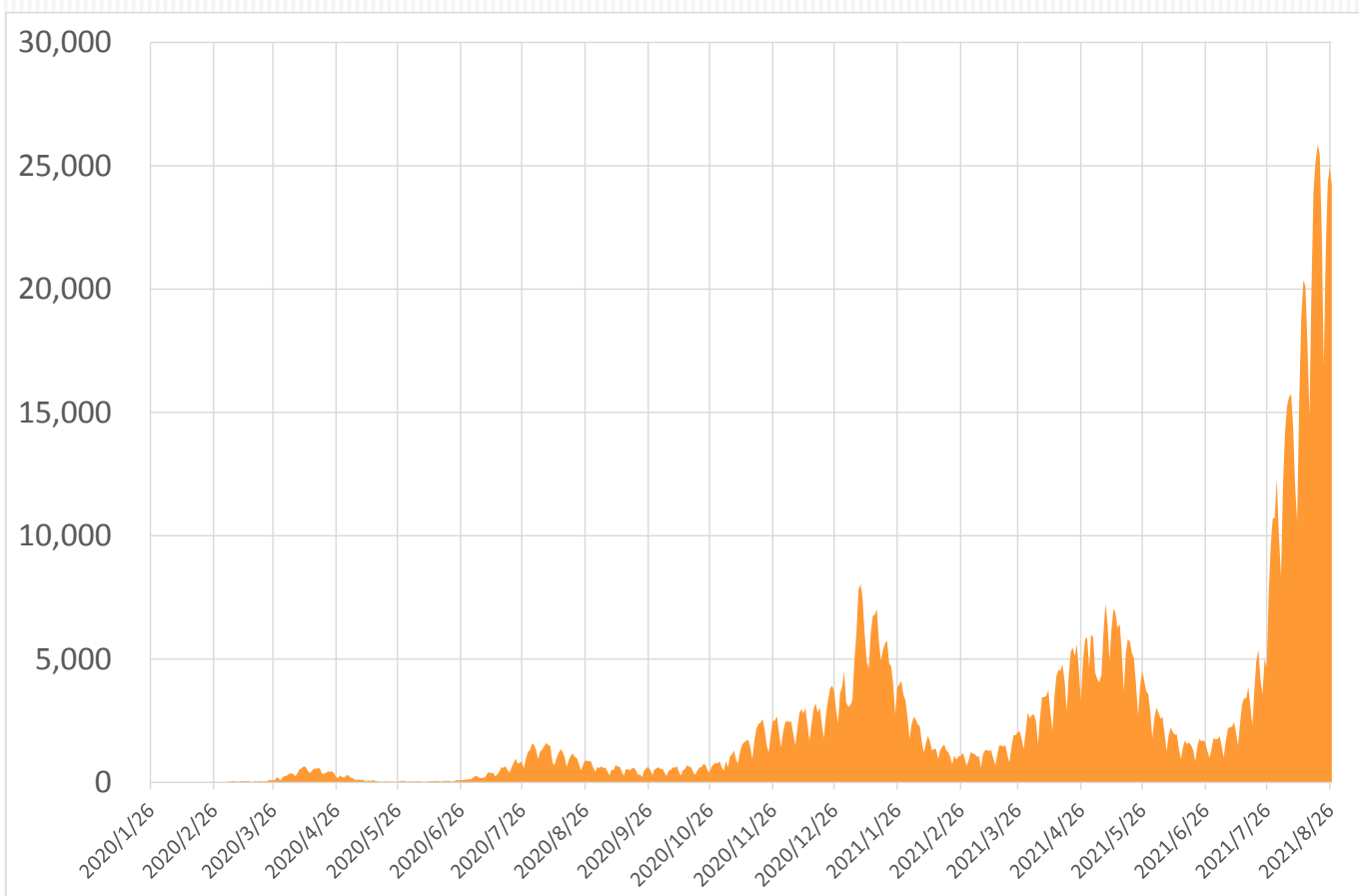
経済アナリスト 増井麻里子

1. 感染防止対策の再強化で百貨店売上高の回復遠のく

日本百貨店協会の発表によると、7月の全国百貨店売上高は、4,020億円余りで前年同月比+4.2%となった。時計・宝飾品といった高額品とイエナカ需要による食料品が牽引し、2カ月ぶりに前年を上回った。しかし、2019年同月比では△17.4%と、コロナ以前の水準にはまだ及ばない。

8月に入り、全国の新型コロナウイルス新規感染者数は過去最大水準を更新し続けている。政府は8月27日、8道県を緊急事態宣言の対象に追加し、計21都道府県とした。1,000平方メートルを超える大型商業施設や百貨店の地下食品売り場には、入場整理や制限をかけるように要請している。期間は9月12日までとなっているが、新規感染者数が高止まりしており、延長する可能性がある。百貨店へのダメージは避けられない。

図表1 新型コロナウイルス新規陽性者数の推移（日別）（2020/1/26～2021/8/27）



出所：厚生労働省のオープンデータより筆者作成

図表 2 商品別売上高 (2021年7月)

商品別	売上高 (千円)	構成比	対前年増減率
総額	402,035,318	100%	4.2%
衣料品	95,835,737	23.8%	0.8%
身のまわり品	55,195,965	13.7%	7.8%
雑貨	75,411,556	18.8%	10.6%
家庭用品	15,446,276	3.8%	△3.9%
食料品	139,364,749	34.7%	3.7%
食堂 喫茶	7,578,946	1.9%	6.0%
サービス	3,296,313	0.8%	△1.0%
その他	9,905,776	2.5%	△6.6%
商品券	12,977,570	3.2%	△5.4%

注：商品券は総額に含まれない。商品券の構成比は総額に対する比率。本統計には消費税は含まれていない。

出所：『令和3年7月全国百貨店売上高概況』より筆者作成

2. 富裕層の困り込みとオンライン販売に注力

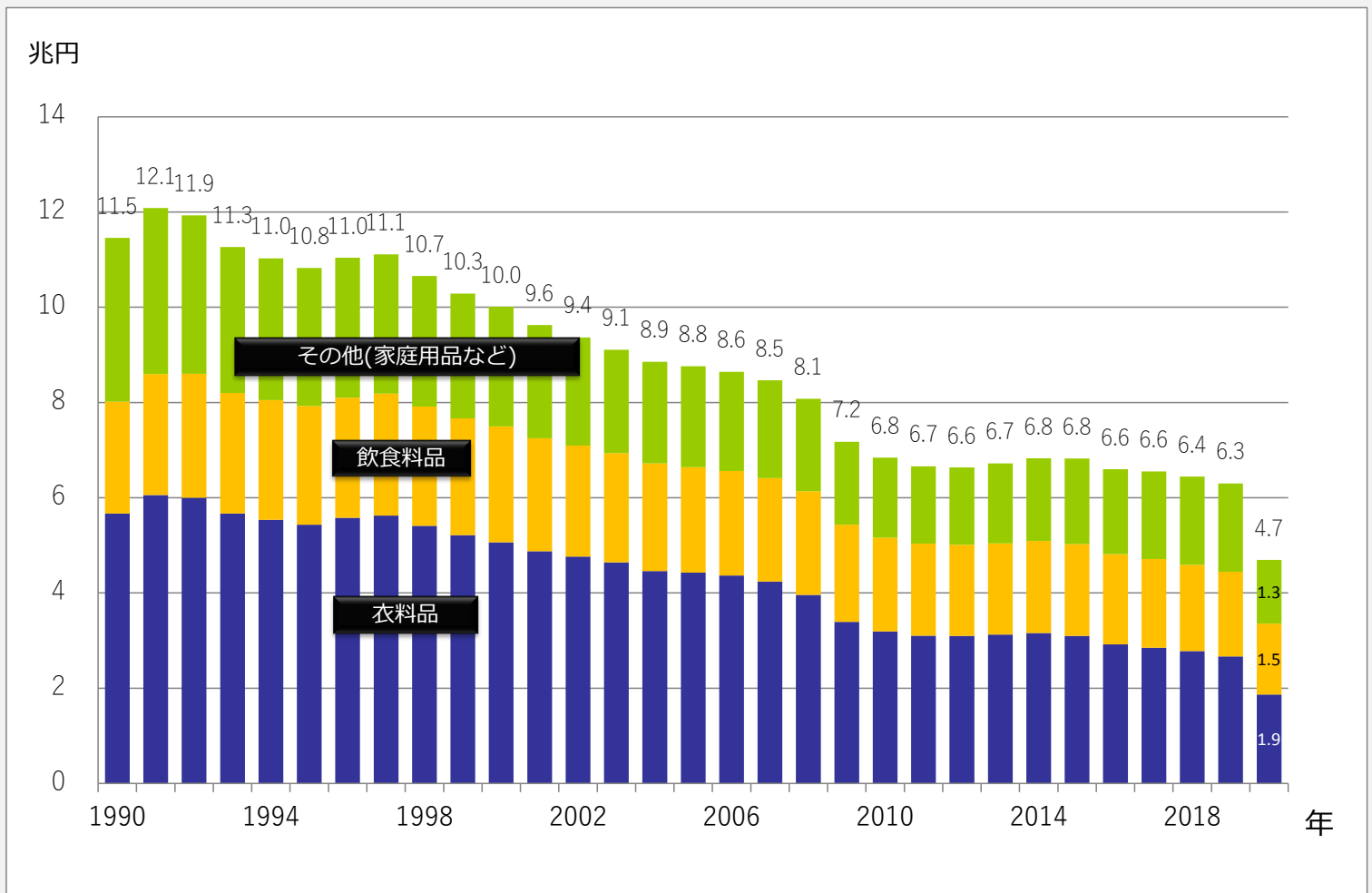
経済産業省の商業動態統計によれば、2020年の百貨店の売上高は、前年比△25.5%の4兆6,938億円と、大きく減少した。衣料品が1.9兆円まで落ち込み、ピークだった1991年の6.1兆円の3分の1にも満たない水準となった。量販専門店などの衣料品販売は、リーマンショック発生後の2009年をボトムに回復傾向だが、百貨店の衣料品販売は回復の兆しが見えない。

百貨店全体の売上高も、リーマンショックで減少した後、いまだそれ以前の水準まで回復していないため、今回の新型コロナウイルス感染拡大の悪影響が一時的なものとは限らない。店舗の閉鎖も続いている。2020年12月の百貨店店舗数は196店となり、初めて200店舗を下回った。

百貨店としては、比較的好調な富裕層向けの高額品（美術・宝飾・貴金属）、食料品、贈り物を中心としたオンライン販売、金融に一層注力していくものとみられる。特に富裕層に対しては、細かいデータを活用した外商サービスを強化する動きがあり、顧客の困り込み競争が激しくなるだろう。ただし、高額品が好調な背景には、富裕層が海外に行けず、日本で購入するしかないという状況がある。コロナ後は海外での買い物に需要が奪われる可能性が高い。そのころにはインバウンド需要に再び注力しなければならない。

非富裕層向けでは、贈り物以外のオンライン販売や食料品宅配を強化している。従来の百貨店のビジネスモデルからの転換を図っているところである。経済産業省の調査によれば、2020年の物販系分野のEC市場は、12兆2,333億円（前年比+21.7%）と、ここ数年の1桁台の伸び率を大きく上回って拡大した。百貨店は、主要顧客層が高齢者ということもあり、他の小売業と比較してEC化が遅れていたが、長引くコロナ禍で本格的に取り組み始めた。時間はかかるとみられるが、後々効果が現れてくるだろう。

図表3 百貨店商品別販売額の推移 (1990年～2020年)



出所：経済産業省『商業動態統計』より筆者作成

図表4 物販系分野のBtoC-EC市場規模及びEC化率の経年推移 (2013年～2020年) <単位：億円>



出所：経済産業省『令和2年度電子商取引に関する市場調査』の報告書

図表 5 『第14次業種別審査事典』 対象業種

業種番号	業種名
8122	百貨店
2029	アパレル産業
2031	紳士服小売業
2034	ベビー服・子供服小売業
2035	婦人服小売業
2068	呉服店
2086	靴店
2093	かばん・袋物小売業
2139	貴金属店
5083	家電小売業
5126	時計小売業
8017	化粧品卸売業
8018	化粧品小売業
8135	カタログ通信販売
10012	クレジット・信販会社
10149	ネット取引・EC運営業

出所: (株) きんざい 出版部